

漁況予報 い わ し

第205号

【2018年1～2月漁期】

※1 平年：過去5年平均

※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

= 概 況 =

【マイワシ】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は、11月は4.4トンで前年(769kg)および平年^{*1}(2.9トン)を上回りました。12月は300kg(速報値)で前年(120kg)並で平年(4.2トン)を大きく下回りました。

まき網は、11月、12月ともに水揚げはありませんでした。

魚体は、被鱗体長^{*2}(以下同)12-14cmの0歳魚(2017年生まれ)主体(聞き取り)でした。

【2017年概況】神奈川県における2017年のマイワシ漁獲量は、主要定置網1,095トン、まき網24トンの合計1,120トン(速報値)で、前年(1,431トン)をやや下回り、平年(1,097トン)並で4年連続の1,000トン超えとなりました。これは夏季以降に0歳魚(2017年級群)の漁獲量が伸びたためですが、大羽イワシの来遊は3月にあっただけでした。マイワシ太平洋系群は加入量の良好な状況が続いており、今後本県沿岸への更なる来遊に期待したいところです。

【カタクチイワシ】

主要定置網における11月のカタクチイワシ総漁獲量は2トンで、前年(3トン)並で平年(8トン)を下回りました。つづく12月の漁獲量(速報値)は5kgで前年(21kg)及び平年(21トン)を大きく下回りました。

【2017年概況】神奈川県における2017年のカタクチイワシ総漁獲量は、主要定置網1,317トン、まき網268トンの合計1,585トン(速報値)であり、前年(2,128トン)および平年(3,054トン)を大きく下回りました。多くの月で平年を下回る来遊水準で推移し、8月以降は殆ど漁獲がなくなりました。国等の資源量調査によれば沖合海域における分布量は確実に減少していますので、今後は沿岸発生群の動向を注視していく必要があります。

【シラス】

相模湾のシラス船びき網によるシラス漁獲量(標本船データより推定)は、11月は黒潮大蛇行の影響もあり前年および平年を大きく下回りました(前年比0.2倍、平年比0.2倍)。12月は黒潮の北上流路がやや東側にずれたこともあり、漁模様は前年および平年を上回る水準となりました。(前年比1.3倍、平年比1.2倍)。

【2017年概況】神奈川県における2017年のシラス総漁獲量(標本船データからの推定

値)は、前年および平年並をやや下回る 316 トンとなりました(前年比 0.7 倍、平年比 0.7 倍)。6 月および 12 月は平年を上回る漁模様となりましたが、それ以外の月は軒並平年以下で、特に 9 月以降は黒潮大蛇行の影響を大きく受けた一年でした。

= 予 報 =

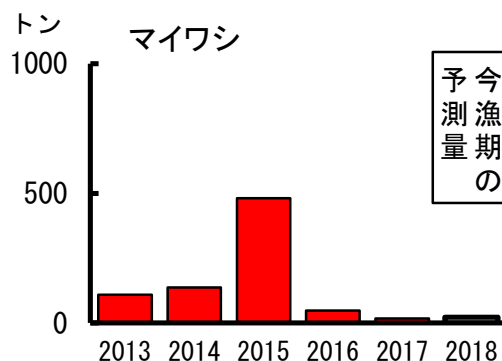
【マイワシ】

今漁期は、2017 年生まれの中羽マイワシ(13~15cm)が漁獲の主体となるでしょう。

前年同期同様、親潮の南下勢力が弱いため来遊量は伸びないでしょう。

今漁期の漁獲量は、前年を下回る約 21 トンと予測されます。

過去 5 年の 1・2 月漁期の漁獲量と今漁期の予測量

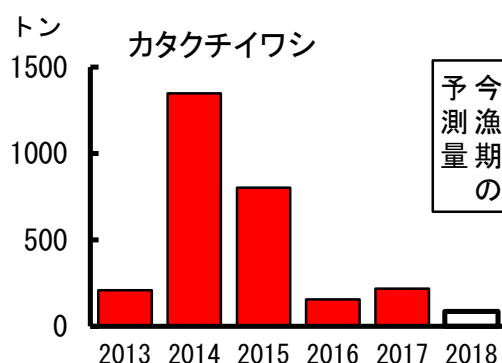


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

【カタクチイワシ】

今漁期は、未成魚(7-8cm)及び小型成魚(9-10cm)が漁獲の主体となり、沖合海域から来遊する大型成魚(12-14cm)が僅かに混じるでしょう。

前年同期同様、親潮の南下勢力が弱いため来遊量は伸びないでしょう。今漁期の漁獲量は、前年を下回る約 86 トンと予測されます。



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

【シラス】

神奈川県の上りしらす漁は、1月1日から3月10日まで禁漁です。当所では解禁後の漁況予測のため、神奈川県上りしらす船曳網漁業連絡協議会の協力により、今年も1~3月に禁漁期調査を実施します。調査の状況については、次号で報告する予定です。

神奈川県水産技術センター企画資源部
三浦市三崎町城ヶ島 (046)882-2313